

<b>CONTENTS</b>	兵臨技新人研修会に参加して .....	1
	授賞のお知らせ、第40回西播地区研究発表会に参加して、近畿臨床検査薬卸連合会と「災害時における臨床検査薬等の供給に関する協定」を締結しました .....	2
	令和5年度 第1回東播地区ナイトセミナーに参加して、学術：#研究班(遺伝子)、 .....	3
	MTJ記事掲載(肝臓学会が新指標、ALT30超で受診を)、今後の予定、行事・求人案内 .....	4
	会員グルメ情報 .....	5

## 組織 兵臨技新人研修会に参加して

中村 梓沙 会員 (赤穂市民病院)

私は臨床検査技師として生理機能検査や採血等、業務の中で患者さんと接する機会があります。何度も会える友人等とは異なり、1度しか会う機会がない患者さんもいます。その1度で良い印象を持ってもらうためには何が必要なのかということを考えてながら講演を聴かせて頂きました。接遇に関する講演の中で最も印象に残っていることは、自分の持っている知識や技術を患者さんに提供する手段が接遇であり、その接遇を通して患者さんとの信頼関係を築くことが、病院の信頼や、より良い治療効果の期待に繋がるといことです。知識や技術を身に付けることも勿論重要ですが、私が患者さんに接する態度が良い方向にも悪い方向にも影響することを改めて自覚し、身の引き締まる思いがしました。また、言葉遣いや表情等 普段の生活からの態度が大切であると感じ、自分を見つめ直す良い機会になりました。

研修会で学んだ事を活かしながら、患者さんが安心して検査を受けて頂けるように今後の業務に取り組んでいきたいと思ひます。

最後になりましたが、兵臨技新人研修会に携わって下さった皆様に感謝申し上げます。



## 兵臨技新人研修会に参加して

森川 美穂 会員 (公立八鹿病院)

今回の講演のテーマである「接遇」は、自分の担当している生理検査部門に関わりがあり、挨拶、身だしなみ、言葉遣いなど、改めて自分を見つめ直すきっかけになりました。

また、途中で挟まれるワークの時間やグループワークでの話し合いを通じて、周囲の新人技師と意見を交わすことができ、人によって接遇で意識している部分が違うことを再確認することができ、ワークで話した後の空いた時間でお互いの病院の話の聞いたり、親睦を深めることが出来て非常に良い経験になりました。

自分が就職した時期がコロナ禍だったということもあり、今まで大学の友人や同僚以外の技師と話す機会が無かったので、同年代の技師と話す機会を持つことができとても嬉しかったです。

初めての研修会への参加で最初はとても緊張していましたが、現地で同職の方と交流することで多くのことを学べました。またぜひ機会があれば参加させて頂きたいです。





## 授賞のお知らせ

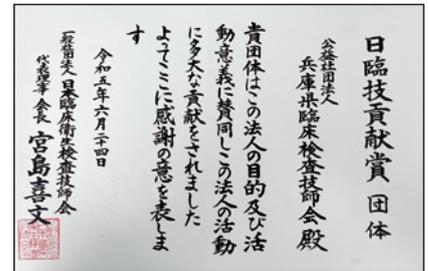
令和5年6月24日(土)にホテル雅叙園東京にて開催された一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 創立70周年・法人化60周年記念事業において当会から以下の3名の方々が臨床検査技師業務功労者 厚生労働大臣表彰を受賞されました。

金 基潤会員(元兵臨技副会長)、佐藤 伊都子会員(現兵臨技副会長)、狩野 春艶会員(現兵臨技精度管理部長)

おめでとうございます。今後ますますのご活躍を祈念いたします。

また当会が新型コロナウイルスに対するワクチン接種への協力に対して日臨技貢献賞(団体)を受賞しました。

今後も衛生思想の普及啓発及び臨床検査技術の振興を通じて、地域保健事業への協力を行うとともに、臨床検査の技術及び知識の高揚を図り、もって公衆衛生の向上と県民の健康の保持、増進に寄与していきたいと思いをします。



## 第40回西播地区研究発表会に参加して

糟谷 美空 会員 (姫路中央病院)

今回4年ぶりに現地での開催となる、第40回西播地区研究発表会に参加しました。会場には約130名が出席されており、活気にあふれた様子でした。私は臨床検査技師として働き始めて3年目ですが、COVID-19の影響で参加したことのある研修会や勉強会は、ほとんどがWeb開催やハイブリッド開催でした。実際に現地で沢山の臨床検査技師の皆さんと顔を合わせることができとても感慨深かったです。

一般演題では、身近な業務改善やインシデント報告から希少な症例まで様々な演題があり大変勉強になりました。



市民公開講座では、藤沢先生・大石先生にピロリ菌や薬剤耐性菌などについてご講演を頂きました。自分にとってもわかりやすく興味深い内容で、医療に携わっていない市民の皆様にも関心を持ってもらえるきっかけになったのではないかと思います。こういった活動を通して臨床検査技師をより一層身近に感じてもらえたら嬉しいです。

## 第40回西播地区研究発表会に参加して

森井 雅敏 会員 (兵庫県臨床検査研究所)

新型コロナという未曾有の事態を乗り越えて節目となる40回目の西播地区研究発表会が現地のみという形で開催されました。

今回の研究発表会の一般演題をうけて、新型の機器の導入によってどれだけ精度が向上したか調べる姿勢、結果から過去の検査を振り返りその可能性も考慮できたかどうかの反省、初期対応が予後に大きくかわる疾患に対して対策を考えること、検査の待ち時間短縮や事故を事前に防ぐためにブレインストーミングといった全員で意見を出し合う方法についてなど様々な分野の知識を学ぶことができました。

また医療公開講座によって薬剤耐性を持つ細菌について、および私たちに何ができるか、withピロリ、postピロリとしての胃における病気の推移について学ぶことができました。

今回学んだ知識を普段の業務でも活用できるよう励んでまいります。

今回の西播地区研究発表会の開催をしていただきました皆様に感謝いたします。

渉  
外

## 近畿臨床検査薬卸連合会と「災害時における臨床検査薬等の供給に関する協定」を締結

安部 史生 会員 (渉外部長)

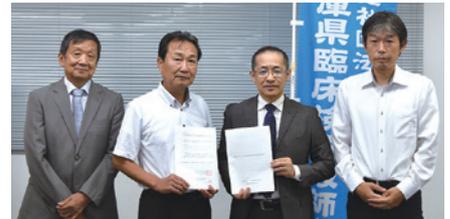
兵庫県臨床検査技師会では兵庫県及び隣接府県の災害発災時の対応を図るべく、臨床検査及び臨床検査技師の支援及び受援における環境整備を進めています。

災害医療活動における平時の整備の一つに諸団体との連携構築が挙げられますが、この度、8月9日に兵庫県臨床検査技師会

研修センターにおいて近畿臨床検査薬卸連合会と「災害時における臨床検査薬等の供給に関する協定書」を取り交わいたしました。

発災時における医療機関検査室の機能運営維持支援活動の一環として、人的支援の他、検査試薬、代替機器、純水等の対応構築を今後も進めてまいります。

皆様の検査室もこの機会に何をどのようにしたら発災時に臨床検査が活かせるのかお考えいただけましたら幸いです。



左から広瀬勇卸連合会前副会長、中村和彦卸連合会会長、真田会長、安部渉外部長

## 令和5年度 第1回東播地区ナイトセミナーに参加して

富田 孝子 会員（北播磨総合医療センター）

今回のテーマは「精度管理の基礎と実践～検査結果の品質確保のために～」ということで、Webでの開催でした。新型コロナ流行前は、現地開催で、仕事を終わらせ参加したのですが、場合によっては仕事が終わらず、参加したくてもできない事もありました。新型コロナ流行によってWeb開催が増え、気軽に参加できるようになり、また質問はチャットを使用し、リアルタイムに情報交換できるので、便利になったと感心させられます。

さて、精度管理ですが、検査結果を保証する手段として重要なこととわかってはいても、試薬や精度管理試料のコスト、手間を考えると、何をどのように実施すればいいのかわかるところです。今回の研修において、精度管理の大切さを再認識する機会となり、臨床診断に用いられる検査値は、精度保証を確保した信頼性の高い正確なデータを提供できるように、これからも努めたいと思います。

## 令和5年度 第1回東播地区ナイトセミナーに参加して

藤原 知輝 会員（市立加西病院 中央検査科）

今回の精度管理についての貴重なご講演、植村康浩先生ありがとうございました。精度管理に携わっている者として大変勉強になりました。

検査結果は患者様の診断や治療、予後予測に大きく関わってくるので、その品質を確保するための精度管理はとても重要であると改めて思いました。普段、精度管理に使用している専用コントロールや第三者コントロール等の精度管理試料の特徴も理解できました。コントロールが外れた場合に、原因を突き止める方法の一つとしてマルチルールを利用することで、系統誤差なのか偶発誤差なのかを切り分けることができるので活用していきたいと思いました。また、内部精度管理に使用する試料の管理幅の設定に悩んでいたのですが、ご講演を聴いてとても参考になりました。実際の事例を交えながら説明していただけたので、精度管理をするにあたって注意しないといけないこともわかりました。今回学んだことを今後の精度管理業務に活かしていきたいと思います。



## # 研究班

丸岡 隼人 会員（遺伝子研究班）

### 血液研究班と合同で研修会を開催しています!

遺伝子研究班の丸岡です。新型コロナウイルスの登場以降、多くの医療機関においてPCR法などを用いた遺伝子検査が日常的におこなわれるようになりました。リアルタイムPCR装置などの検査機器が導入され、遺伝子検査をおこなうためのハード面が揃ったご施設も多数あるかと思えます。最近では、アフターコロナ時代におけるPCR装置の有効活用について、電話での問い合わせや見学依頼が増えています。遺伝子検査は外注している施設がほとんどですが、院内化することにより迅速かつ低コストで検査可能な項目が多数あります。

遺伝子検査は感染症のみならず、血液腫瘍および固形腫瘍の診療において、今や必要不可欠な検査となっています。特に、血液腫瘍の分野ではWHO分類が昨年改訂され、来年度中には血液腫瘍の遺伝子パネル検査が保険診療下で実施される運びとなっており、遺伝子検査の重要性がますます高まっています。遺伝子研究班は数年前から血液研究班と合同で研修会を開催しています。血液腫瘍における臨床検査を正しく理解し、日常業務に生かせるような情報提供をコンセプトに、基本的な内容から最先端の内容まで盛りだくさんの内容となっています。毎回、著名な講師をお招きして、他府県にはない研修会を企画しておりますので、是非ともご参加ください。

遺伝子研究班は、日常業務において血液腫瘍の遺伝子検査のみならず、フローサイトメトリーを担当しているメンバーで構成されています。血液腫瘍の遺伝子検査やフローサイトメトリーに関する検査結果の見方・考え方に関するアドバイスも随時おこなっておりますので、お気軽にご相談ください。

MTJ記事掲載

# 肝臓学会が新指標、ALT30超で受診を

日本肝臓学会は6月15日、健診などでALT値が30U/Lを超えた場合、かかりつけ医を受診するよう促す新たな指標を発表した。かかりつけ医が肝炎ウイルス検査の結果や肝線維化スコアの「FIB-4 index」、飲酒量などを確認し、必要に応じて専門医に紹介する。今後、「ALT Over 30」を一般市民やかかりつけ医などに啓発し、肝疾患の早期発見・早期治療につなげる。

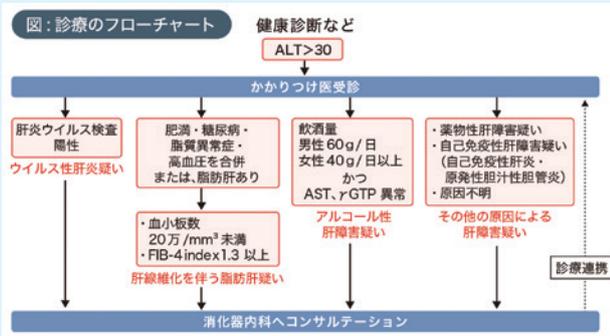
指標は同日、奈良市で開かれた総会で吉治仁志学会長（奈良県立医科大学主任教授）が「奈良宣言2023」の1つとして発表した。学会初の試みで、吉治氏は「肝臓病を、進行してしまった状況にならないうちに拾い上げることは学会の重要な役割」と述べた。宣言は、「Stop CLD（慢性肝臓



学会幹部が奈良宣言の記者会見も開いた（6月15日）

病)」をキャッチコピーに「ALT Over 30」のロゴを配置し、「ALT値がもしも30を超えていたら、慢性肝臓病が隠れているかもしれません」とかかりつけ医の受診を促している。

フロー図によるとかかりつけ医は、肝炎ウイルス検査によりウイルス性肝炎を疑うほか、糖尿病や高血圧などを合併している場合は血小板数やFIB-4indexで肝線維化を、飲酒量が一定以上でAST異常などであればアルコール性肝障害をそれぞれ確認する。ほかに薬物性肝障害や自己免疫性肝疾患なども考慮し、必要に応じて消化器内科などの専門診療科を紹介する。



株式会社じょうが記事利用を許諾しています。  
THE MEDICAL & TEST JOURNAL  
(2023年7月1日掲載) [許諾番号20230727-1]

## 《今後の予定》

### 「検査と健康展」

開催日時／10月8日(日) 10:30~15:00 開催場所／神戸常盤大学  
内容／①健康チェック(頸動脈エコー、血管年齢チェック、ヘモグロビンチェック、体組成チェック)、②子供向け企画「りんしょうけんさぎしになろう」(顕微鏡観察、エコー体験、災害マップ作成を予定)、③臨床検査技師についての説明ブース、④子宮頸がん検診受診の啓発ブース「みんなで知ろう子宮頸がん」



概要／地域の方と一緒に健康、災害について考える、地域の方に臨床検査技師という職種、仕事内容を知ってもらう企画を用意しています。  
健康チェックは、地域の方に少しでも健康に興味をもってもらうこと、臨床検査技師という職業を知ってもらうことを目的とした企画で、検査と健康展が対面で開催可能であった年は、300名ほどの地域の方が来場していました。また、子供向け企画では、子供たちに臨床検査技師の仕事を知ってもらうための内容を用意しており、今年は、子供と親と一緒に参加できる「災害マップ」作りを予定しています。地域の方と一緒に災害について考えてみようという意図があります。他にも、臨床検査技師について説明を行うブース、子宮頸がん検診受診の啓発ブースも用意しています。

### 創立70周年・公益社団法人設立10周年記念式典開催のお知らせ(第一報)

日時／令和6年1月14日(日) 15:00~ 会場／神戸ポートピアホテル

行事予定案内および求人情報は、ホームページに掲載しております。  
右のQRコードから最新情報をご確認下さい。

行事予定表



求人情報





## 会員グルメ情報

数珠つなぎ 61

榎 祥吾 会員  
(赤穂中央病院)

今回は「Le・frais Café&Rest ル・フレ」を紹介します。ル・フレは国道250号線から少し中に入った住宅街の中に現れる英国チックなガーデンに囲まれたカフェです。陽が差し込む店内は明るく開放的で何時間でも居たくなるような居心地の良さです。

11時30分から14時のランチタイムで食べることができるランチメニューのおすすめは「デミグラスソースのオムライス」です。とろとろふわふわの半熟卵のオムライスの上に自家製デミグラスソースがたっぷり何度食べても美味しく大好きなメニューです。ランチメニュー以外のフードメニューも充実していて何にするか悩んだらサンドイッチがイチ押しです。

14時以降はカフェタイムになっていてフルーツをグラスいっぱい詰めたカラフルで豪華なパフェが大人気です。

素敵なお庭を眺めながら明るい店内で美味しい料理にフォトジェニックなパフェを楽しんでみて下さい。



デミグラスソースのオムライス ランチ



店内の様子

### 《店舗情報》

店 名 / Le・frais Café&Rest ル・フレ  
住 所 / 〒678-0248 兵庫県赤穂市板屋町64  
T E L / 0791-42-6001  
営業時間 / 8:00~17:30(L.O 17:00)  
定 休 日 / 月曜日(祝日の場合営業)

**Canon**



*i* が描く新たな地平。

***Aplio i-series***  
Prism Edition

【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i900 TUS-AI900 【認証番号】228ABBZX00020000  
 【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i800 TUS-AI800 【認証番号】228ABBZX00021000  
 【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i700 TUS-AI700 【認証番号】228ABBZX00022000

J000160-01

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

*Made For life*



診断技術で、  
安心な毎日を。

 **株式会社 タウンズ**

〒410-2325 静岡県伊豆の国市神島761番1  
[www.tauns.co.jp](http://www.tauns.co.jp)